

ランキュラスPon-Pon シリーズの適正な冷蔵週数

ランキュラスPon-Pon シリーズ「シレンテ」は5週冷蔵処理、「イグルー」は6週冷蔵処理が適します。

背景・目的

- ランキュラスにおいてマーケットニーズの高いPon-Pon シリーズは、平成27年に本格導入され、産地化が進められてきていますが、通常のランキュラスと特性が異なるため、栽培技術が確立されていません。
- そこで、Pon-Pon シリーズの主要品種のうち「シレンテ」および「イグルー」に適した冷蔵週数を検討しました。

成果の内容

- 出庫後の苗の芽は、両品種とも4週冷蔵区で芽の出が遅く、「シレンテ」は6週冷蔵区の芽は細く、徒長します（図略）。
- 1番花の開花日は、「シレンテ」は6週冷蔵区が最も早く、6週冷蔵区と5週冷蔵区は年内に開花します。「イグルー」は6週冷蔵区が最も早く、6週冷蔵区のみ年内に開花します（表1）。
- 株あたりの切り花本数は、両品種とも処理区間に差はありません（表略）。
- 全期間を通した切り花形質では、「シレンテ」は冷蔵週数と切り花形質に一定の傾向はなく、「イグルー」は冷蔵週数が長くなるほど小さい値を示すものの、全区とも十分な切り花形質です（表略）。
- 開花のピークは、全ての区で「シレンテ」は3月上旬、「イグルー」は3月中旬であり、冷蔵週数が長いほど開花が前進化し、開花期が分散します（図略）。

表1 1番花開花の開花日と切り花形質

品種名	試験区	1番花開花日 (月、日)	定植後開花日数 (日)	切り花長 (cm)	茎長 (cm)	茎径 (mm)	切り花重 (g)	側枝数 (本)
シレンテ	4週冷蔵	1月4日	77.2 ± 7.3 ^z	30.0 ± 1.7 ^z	26.4 ± 1.9	5.0 ± 0.3	15.1 ± 1.0	0.1 ± 0.1
	5週冷蔵	12月27日	70.0 ± 1.0	28.3 ± 1.0	24.8 ± 0.6	4.5 ± 0.2	13.8 ± 0.9	0.2 ± 0.1
	6週冷蔵	12月17日	59.8 ± 2.3	28.3 ± 1.2	25.3 ± 1.1	3.8 ± 0.1	10.6 ± 0.6	0.1 ± 0.1
イグルー	4週冷蔵	1月26日	99.2 ± 2.7	48.1 ± 2.3	44.3 ± 2.3	8.2 ± 0.1	45.4 ± 2.9	0.9 ± 0.1
	5週冷蔵	1月3日	76.5 ± 0.6	44.7 ± 0.9	40.3 ± 0.9	6.6 ± 0.4	34.4 ± 1.9	0.5 ± 0.2
	6週冷蔵	12月29日	71.3 ± 2.9	46.3 ± 0.6	42.0 ± 0.7	5.9 ± 0.2	33.3 ± 4.6	0.5 ± 0.1
y	冷蔵週数		*	n. s.	n. s.	n. s.	*	n. s.
有意性	品種		*	*	*	*	*	*
	冷蔵週数×品種		n. s.	n. s.	n. s.	n. s.	n. s.	*

z 平均値±標準誤差 (n=3)

y 二元配置分散分析により、*は5%水準では有意差あり、n. s.は有意差無し



(写真)：左：シレンテ 右：イグルー

成果の活用方法(又は期待される効果)

- Pon-Ponシリーズの最適な冷蔵週数での栽培を行うことで、1番花の平均開花日が早まり、切り花品質の優れた切り花を効率よく生産することができます。
- 普及対象地域・戸数 西諸県地域のランキュラス生産者 5戸

留意点

- 宮崎市での試験結果であるため、開花時期等については導入地域の気象条件を加味してください。

関連研究成果カード：2022年度前期 番号9、関連事業名：マーケットアウトに対応した新品目の安定生産技術の開発(県単)
研究期間：2021年度